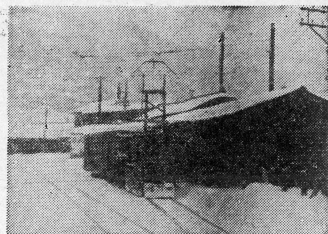


鉄道ピクトリアル

1962年3月号 Vol.12 No.3

[EF 52・53・55 形電気機関車特集]



草軽電鉄最終列車 上州三原にて 柴田重利

表紙「雪に挑むEF70」……………佐竹 保雄

カラー写真「かくしゃくたりEF52」……………佐竹 保雄

グラフ

荻窪線開通……………大塚和之・編集部…7

東京急行 オールステンレスカー7000……………東急電鉄提供・編集部…8

<EF 52・53・55 形電気機関車特集>

EF 52……………伊藤 昭・佐竹保雄…10

EF 53……………伊藤 昭・南雲良平・権田純朗…12

EF 55……………伊藤 昭・吉村光夫…14

春まだ浅い狭山湖線……………西野 保行…39

早春譜……………小沢年満・坂田一之・高橋 修…40

回顧10年……………高松吉太郎…42

京阪電気鉄道〔その3〕……………沖中忠順・湯口 徹・奥野利夫…44

九州地方の古典ロコ……………奈良崎博保・小田部秀彦・谷口良忠…46

<新幹線>モデル線区を訪ねて……………岸 幸男…72

トピックフォト(関東だより・中京だより・東北・北陸・中央だより
関西だより・九州・中国・四国だより)……………71・74~77

『日本の客車』落穂集……………78

記事

今月の話題「草軽ついに最後の日を迎う」……………3

EF 52形電気機関車ができるまで……………芝間余次郎…4

“EF52”から“EF53”まで……………田中 隆三…15

流線形EF 55設計回顧……………片山健次郎…18

国産初期のEF52・53・55形電気機関車の今後の行方……………久保田 博…20

EF 52・53・55の移り変り……………杉 田 肇…22

忘れ得ぬEF53……………小林 信夫…24

EF52・53・55の工場修繕の思い出……………木村 敬…26

「日本の客車」落穂集〔2〕……………中川 浩一…29

九州地方の古典ロコを拾う〔2〕……………奈良崎博保…32

開館した大阪交通科学館……………吉川 寛…35

鉄道の話題……………38

京阪電気鉄道〔3〕……………同志社大学鉄道同好会…47

雪カキ車〔2〕……………村井 健三…55

鉄道切手100年誌〔完〕……………荒井 誠一…59

台車のすべて〔3〕<国鉄編>……………吉雄 永春…62

1月のメモ帖……………65

質問に答える……………66

読者短信……………68

営団荻窪線全通……………大塚 和之…70

車両の動き……………79

TTKだより、後部車から……………80

今月の話題

草軽ついに最後の日を迎う

「高原鉄道」として「クサカル」の愛称と共に、満天下の鉄道ファンに親しまれてきた「草軽電鉄」の全線廃止は12月19日運輸審議会から認可の答申があつてから、「最後の日」は時の問題として注目されていたが、ついに1月31日限り、多くのファンに惜しまれながら約半世紀にわたる歴史の幕を閉じた。

思いめぐらせば、大正4年7月22日、新軽井沢—小瀬温泉間(10キロ)を小形蒸気機関車で営業開始して47年、一時は軽井沢と草津温泉とを結ぶ唯一の観光路線として華々しい足跡を印したこともあつたが、打ちつづく赤字には抗すべきすべもなく、35年4月には新軽井沢—上州三原間37.9キロの営業運転を廃止し、約3分の1の上州三原—草津温泉間17.6キロだけでホソボソ営業していた高原の愛嬌もの草軽が、ついに永遠に、1月末の大雪と共に消え去ってしまったことは、本年度劈頭最大の話題として特記されるだろう。

昨年7月終幕の京都N電につづいて、いままた人気者「草軽」を失うことは、暁に最後に輝く星の一つ一つが消え去るようで、誠に愛情の念を禁じえないが、経営の悪化に悩む中小私鉄の一つの傾向を示すものとしてまたやむをえないかも知れない。

残った電車2両は越後交通に身売り、電気機関車3、客車4、貨車10両が残るといふが、せめてこれらの車両の落ちつく先に安住?の地が与えられたいものである。

表紙「雪に挑むEF70」 佐竹保雄

37-1-21 田村にて EF 702 [敦二]

パールⅣ ヘキサ F3.5 f5.6 1/100

コダカラ

カラー写真「かくしゃくたり EF 52」

36-11-30 竜華にて 佐竹保雄

EF 522 [鳳]

パールⅢ ヘキサ F3.5 f5.6 1/100

エクタクローム E-2